

平成 24 年度事務事業評価調書

事業コード	02010201	区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 経常
事務事業名	任意予防接種費用助成事業	担当部署名	健康福祉課健康グループ
		作成責任者職氏名	課長 尾谷 義彦
		内線	340
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)
	02健康・福祉	01健康増進・疾病予防の推進	01疾病予防の推進
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成22年度～ 年度)		実施方法 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等
根拠法令等	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	法令等の名称	千早赤阪村任意予防接種費用助成事業実施要綱 義務付け <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <p>乳幼児の健やかな成長を保障と保護者の経済的負担の軽減、高齢者の肺炎の発症及び重症化の予防と健康の保持増進を図る。</p> <p>②内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児、中学1年～高校1年に対するワクチン接種費用の助成を行う。(ヒブ・肺炎球菌・子宮頸がん・水痘・おたふくかぜワクチン) (個別医療機関接種) ・高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用の助成を行う。 (個別医療機関接種) 	村民
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
ワクチンの接種により、疾病の予防ができる。	肺炎球菌ワクチン等は一生に1回の接種であり、事業初年度の経費は大きいですが、次年度よりは新規対象者のみであり、予算は減となる。一方、村民から要望されるワクチンの種類は、年々増加しており、事業として増加していくと考えられる。

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
	22年度実績	23年度		24年度事業費(見込)	25年度事業費(見込)			
		事業費(予算)	実績(見込)					
事業費(見込含む)(千円)(A)	266	7,873	7,873	3,604	3,604			
財源内訳	国庫支出金							
	府支出金	64	2,811	1,432				
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
その他の特財								
一般財源	202	5,062	5,062	2,172	3,604			
人件費	一般職員所要人員(人)(B)	0.30	0.30	0.30	0.30			
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	1,865	1,865	1,865	1,865			
総コスト費(千円)(A+C)	2,131	9,738	9,738	5,469	5,469			
人口あたりコスト(円)	346	1,580	1,580	887	887			
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	23年度			24年度目標値	25年度目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	予防接種者数	人	915	604	66%	464	464
②	目標指標							
③	目標指標							

○目標指標評價值(達成率平均值)

66% / 1 = **66%** (A)

(1/2)

III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	4 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	目的達成のため妥当である。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	4 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	ワクチン接種にて予防が可能な感染症の発症や重症化の予防を行うことが可能である。
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	医療機関委託のため効率的である。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	3 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	特定の者を対象としているが、受益者以外の村民から見ても理解が得られやすい。
○事務事業評価値 (①～④の合計/16)	14 / 16	88% (B)

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
66%	88%	77%	b
a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)			

IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	
B	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
任意予防接種費用助成事業のワクチン接種は、乳幼児の健やかな成長を保障と保護者の経済的負担の軽減、高齢者の肺炎の発症及び重症化の予防と健康の保持増進を図るものであり、引き続き実施すべきと考える。ただし、国の動きとして現在、任意接種に位置付けられているが、定期予防接種とする法改正の動きがある。	

V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
任意予防接種費用助成事業のワクチン接種は、乳幼児の健やかな成長を保障と保護者の経済的負担の軽減、高齢者の肺炎の発症及び重症化の予防と健康の保持増進を図るものであり、引き続き実施すべきと考える。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(2)第三者による有識者会議結果	
	/ A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(3)行政経営戦略会議結果	
任意予防接種費用助成事業のワクチン接種は、乳幼児の健やかな成長を保障と保護者の経済的負担の軽減、高齢者の肺炎の発症及び重症化の予防と健康の保持増進を図るものであり、引き続き実施すべきと考える。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止

